

宮前区の歴史年表

※BCは西暦紀元前を示す

世の中の出来事	西暦(年)		年号	宮前区の出来事	地図索引	出来事の説明
三内丸山遺跡。この頃地球の温暖化が進み海岸線が溝口付近にまで至る(子母口貝塚)	BC.33000頃～BC.15000頃	先史・古墳時代	旧石器時代	鷲ヶ峰遺跡	D-4	ナイフ型石器・スクレーパー出土
	BC.6000頃		縄文早期	菅生水沢遺跡	F-5	宮前区域最古の竪穴住居跡
	BC.6000～BC.2500頃		縄文早期～中期	潮見台遺跡	C・D-4	馬蹄形状集落住居跡
	BC.5000頃		縄文前期	鷺沼南遺跡	I-8	獣面把手付きの土器と住居跡
	BC.2500頃		縄文中期	土橋第六天遺跡	J-6	縄文中期から後期の住居跡など
吉野ヶ里遺跡	BC.100～300頃	飛鳥時代	弥生中後期	影向寺周辺の遺跡	R-8	弥生後期、古墳時代後期、奈良時代直前の住居跡など
	300～800頃		弥生後期～古墳後期	東高根遺跡	L・M-2	弥生後期から奈良前期の集落跡
武蔵国造の乱。筭原直使主と同族小件が争う。国造使主が四屯倉献上。橘花屯倉成立	534		安閑元年			
	600頃末		古墳時代末	白井坂壇輪窯跡	I-5	市内唯一の壇輪を焼いた窯跡
大化の改新	646	奈良時代	孝徳元年			
百済人2000人を東国に住ませる	666		天智5年			
壬申の乱	672		天武元年			
7世紀後半から律令制始まる	700後半～800頃			馬絹古墳	O-7	朝鮮半島の影響を受けた切石積み石室を持つ円墳
	700頃末			影向寺の前身の寺創建	R-8	影向寺寺伝に言う天平12年以前の軒丸瓦・文字瓦等が出土
僧道昭没す、初めての火葬	700		文武4年			
大宝律令の完成(国郡里制施行)	701		大宝元年			この頃、武蔵国橘樹郡なるか
平城遷都	710		和銅3年			
	740		天平12年	西藏寺創建	Q-9	(寺伝)僧行基開山
国分寺建立の詔。758年に武蔵国分寺建立	741		天平13年			
橘樹郡の物部真根が防人の歌を詠む(万葉集)	755	平安時代	天平勝宝7年			
平安遷都	794		延暦13年			
富士山大噴火。この前後300年の間に何度も噴火を繰り返す	802		延暦21年			
	867		貞観9年	石川の牧		武蔵国勅旨牧貢上馬の駒引きが行われる
	900頃		平安時代前期	有馬古墓群	K-8 他	獣脚付骨蔵器他出土
	900頃		平安時代前期	野川古墓群	P-10 他	鉄板の「墓誌」をとまなう火葬骨蔵器出土
平将門の乱始まる。940年終わる	935		承平5年			
源頼義を陸奥に派遣。前九年の役	1051		永承6年			
	1061	鎌倉時代	康平4年	白幡八幡大神	J-4	(社伝)源頼義創建
源頼朝、平氏打倒の挙兵。弟の全成を長尾の威光寺院主とする。	1180		治承4年			
源頼朝、征夷大將軍となる。枳形山城主稲毛三郎重成が活躍する	1192		建久3年			
	1233		天福元年	菅生神社創建	G-4	神社は、平の白幡八幡大神分霊を祭り若宮八幡と称した(風土記稿)
北条時頼、執権となる(1246年)	1275		建治元年	本遠寺創建	I-3	日蓮の弟子日朗の持仏を受け庵を設ける(寺伝)。天正10年中興
	1300頃		鎌倉時代	西明寺創建	M-9	現在の下有馬不動堂は、その寺域跡。北条時頼開基の寺で、後に小杉に移る(風土記稿)
鎌倉幕府滅亡	1333	南北朝時代	元弘3年			
	1335		建武2年	太田洪子郷		近江の佐々木氏(導誓の母)が太田洪子郷の領家職を相伝。後の神木・土橋地域
南北朝時代の始まり。足利尊氏、幕府を開く	1336		光明3年、延元元年			
	1337		建武4年	有馬の板碑	K-9	福王寺境内の板碑は区内最大の完全品
	1375～1378		永和年間	東泉寺創建	K-3	創建(風土記稿)。永禄年間に復興
	1398		応永5年	菅生郷大蔵の御嶽社の鯉口が造られる(風土記稿)	H-6	
太田道灌、江戸城を築く	1457	室町時代	長禄元年			
応仁の乱始まる	1467		応仁元年			
今川勢と北条早雲が枳形山に布陣	1504		永正元年			
	1505		永正2年	泉福寺	N-7	泉福寺中興開山智賢没す。創建不詳
北条氏綱、上杉朝興の抱る江戸城を落とす。この頃川崎市域は後北条の勢力下となる	1524		大永4年			
	1531	安土桃山時代	享禄4年	野川郷・有馬郷		武州野河郷(影向寺十二神将墨書銘)。有馬郷も稲毛庄の郷と思われる
北条氏康「小田原衆所領役帳」をつくる	1559		永禄2年			「菅生郷」の初出(永禄8年)
	1573		元亀4年	等覚院	K-2	等覚院中興開山栄伝没す(位牌)。創建不詳
	1573		天正元年	秋月院創建	F-2	秋月院前身の大木庵創建。文禄年中に改称
小田原北条氏滅亡	1590		天正18年	豊臣秀吉の禁制		平土橋村・長尾村宛てに狼藉禁制が出る
	1591		天正19年	長善寺	N-10	長善寺中興開山真誉没す(風土記稿)。創建不詳
	1602		慶長7年	福王寺	K-9	福王寺開山僧没す(風土記稿)
徳川家康、江戸幕府を開く	1603	江戸時代	慶長8年			
小泉次大夫、二か領用水工事を完成する	1611		慶長16年			
	1612		慶長17年	長安寺	G-4	長安寺開祖長安没す(寺伝。墓碑銘)
	1671		寛文11年	野川西藏寺の庚申塔	Q-9	区内最古の庚申塔。西藏寺門前の石造地藏菩薩立像
	1695		元禄8年	正福寺	J-6	この頃創建か(阿弥陀如来銘)。開山開基不詳。江戸末期被災後現在地にうつる
富士山噴火	1707		宝永4年			
徳川吉宗八代将軍になる	1716		享保元年			
この頃幕府より新田開発が盛んに行われる	1731		享保16年	大野原新田開発	D-4 他	大野原新田(天真寺新田)の換地が行われる。現在の菅生ヶ丘辺り。享保13年の碑
	1735		享保20年	天真寺祥翁庵	E-4	麻布天真寺の隠居庵の僧祥翁没す。庵には松平不昧公が訪れていた
	1716～1736		享保年中	裨原の天王社勧請	D-4	疫病流行時、麻布天真寺僧が勧請
	1764		明和元年	準西国稲毛三十三観音霊場	I-3 他	平村の山田平七が設定。
	1774		安永3年	犬蔵の月待供養塔	H-6	住居跡の薬王庵は三十二番札所天神社前の石造二十三夜塔建立。区内に3基現存のうちの1基
全国的な大飢饉	1784		天明4年			
	1816		文化13年	「新編武蔵風土記稿」橘樹郡の編さんなる		
明治維新。江戸遷都で東京と改める	1868		明治元年			
廃藩置県で神奈川県が置かれる	1871		明治4年			
学制の発布。太陽暦の採用。明治5年12月3日を6年1月1日とする	1872		明治5年			向丘小学校の創設
地租改正	1873		明治6年			
	1873～1877		明治6～10年	学校教育の始まり		盛隆学舎(野川)、鳴鶴学校(馬絹・有馬・土橋)、成始・化育学校(長尾・平)、初山学舎(菅生)
大日本帝国憲法発布	1889		明治22年	町村制の施行により宮前村・向丘村誕生		梶ヶ谷村・野川・馬絹村・有馬村・土橋村が合併し宮前村に、平村・菅生村・長尾村・上作違村が向丘村になる
日清戦争始まる	1894		明治27年			
日露戦争始まる	1904	近代	明治37年			
神社合祀令により統廃合が行われ、神社名が改まる	1907～1910		明治40～43年	神社の統合		神社統合令により村ごとに1社に合祀される。白幡八幡大神・菅生神社・土橋神社・馬絹神明神社・有馬神明社・野川神明社・長尾神社
	1913		大正2年	馬車		大山街道の二子から往田間を6人乗りの幌付き馬車が走る
	1922		大正11年	電灯・図書館		向丘村に電灯がつく。市内最初の私立図書館が本遠寺にできる
関東大震災	1923		大正12年	乗合自動車		有馬の村道を乗合自動車が走る
川崎市誕生。人口4万8,394人	1924		大正13年			
ラジオ放送開始(NHK)	1925		大正14年	電灯		宮前村に電灯がつく
金融恐慌起こる	1927		昭和2年			
盧溝橋事件、日中戦争開始	1937		昭和12年			
	1938		昭和13年	川崎市に編入		宮前村・向丘村が廃止され川崎市に編入
	1940		昭和15年	軍用地に接収 軍用地道路の建設	N・O-6 他	陸軍東部62部隊など軍用施設のため、接収が始まる。軍用道路は、45年民手黒川線となる
太平洋戦争始まる	1941		昭和16年			
終戦。第一次農地改革の指令	1945		昭和20年			
第二次農地改革の指令。日本国憲法公布	1946		昭和21年			
新憲法施行。教育基本法公布。6・3制実施	1947		昭和22年	小学校、中学校		国民学校を改め川崎市立宮崎・向丘・野川小学校となる。宮崎・向丘中学校創設
	1949頃		昭和24年頃	神木の天満宮再建	L-3	旧赤城神社跡地に天満宮再建
朝鮮戦争始まる。川崎市営バス営業開始	1950		昭和25年			
対日講和条約の締結	1951		昭和26年	軍用地接収解除		軍用地だった丘陵地に大字宮崎・向ヶ丘の地名がつく
	1952		昭和27年	市営バス		溝口から蔵敷間開通
テレビ放送開始(NHK)	1953		昭和28年	住宅地開発		宅地化が始まり、36年から販売開始
	1954		昭和29年	国道246号線開通		明治30年代に矢倉沢往還を改修して造られた県道1号線をさらに改修。国道となった
川崎市の人口50万人突破	1957		昭和32年			
	1959		昭和34年	東急バス		小杉～有馬～荏田 開通
	1961		昭和36年	住宅地急増		この頃から土地開発が盛んになり、南平・有馬団地などができる
東海道新幹線開通。東京オリンピック開催	1964		昭和39年			
	1964～1972		昭和39～47年	都市ガス		宮前区内に都市ガスが普及する
	1965	現代	昭和40年	第三京浜道路開通		
いざなぎ景気	1966		昭和41年	東急田園都市線開通		長津田まで開通。区内に宮崎台・宮前平・鷺沼駅ができる
	1967		昭和42年	上水道	J-7	鷺沼配水所ができ、鷺沼プールが開設
	1967～1986		昭和42～61年	市立小学校の開校		菅生小学校をはじめ15校が次々と開校する
	1969		昭和44年	東名高速道路全面開通		
大阪万国博覧会開催	1970		昭和45年			
	1971		昭和46年	東高根森林公園	L・M-2,M-3	台地上の集落遺跡(泉史跡)とシラカシ林(県天然記念物)の指定。48年県立公園となる
沖縄が日本復帰。日中国交正常化	1972		昭和47年	区制施行		政令指定都市となり高津区誕生
	1972頃		昭和47年頃	小台の八幡神社再建	L-6	馬絹神社に合祀されていた小台の八幡社を旧跡地に遷宮
川崎市の人口100万人突破	1973		昭和48年			
	1976		昭和51年	梶ヶ谷貨物ターミナル完成	P-7	武蔵野南線建設計画が昭和42年に始められた
新東京国際空港(成田)開港	1978		昭和53年	田園都市線、都心へ直通		地下鉄半蔵門線開通により、都心へ直通。利便性が増す
	1979		昭和54年	川崎考古学研究所		有馬の持田春吉氏により川崎の発掘資料を収集した研究所ができる(現在は閉所)
	1982		昭和57年	宮前区の誕生		高津区から区分し宮前区となる 7/1現在 14万8056人
バブル経済の崩壊	1991		平成3年			
阪神淡路大震災	1995		平成7年			
	2005～8		平成17～20年	犬蔵の谷戸の開発	H-I-6～7	
	2006		平成18年	宮前スポーツセンター カッパーク・鷺沼 アリーナ(有馬野川生涯学習支援施設)	H-6 J-7 M-10	
東日本大震災	2011		平成23年			
	2015		平成27年	橘樹官衙遺跡群 国史跡指定		
	2016		平成28年	鷲ヶ峰遺跡		旧石器時代出土品を市重要歴史記念物に指定
川崎市の人口150万人突破	2017		平成29年			

人口:令和元年(10月1日現在) 23万2325人